

ぶなの森

第89号

令和4年1月15日発行

発行：社会福祉法人常成福祉会
丹沢自律生活センター
神奈川県秦野市菩提 1711-2
発行責任者：センター長 伊藤崇博
印刷：丹沢自律生活センター
ホームページ：<https://jousei.or.jp>
アドレス：tanzawa@jousei.or.jp

令和4年新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたことと、
お慶び申し上げます。

旧年中はひとかたならぬご厚情をいただき心か
ら感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束が見通
せない状況にありますが、法人職員が一丸となり、
サービスの質の向上と地域共生社会の実現を目指
し、より一層努力して参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い
申し上げます。

理事長 藤村和静



正月飾り



今年も恒例、ワークセンターの利用者と職員による正月飾りの門松づくりが行われ、本館及び新館に飾られました。

今年の門松は良い出来とのこと。皆さまにとって良い1年でありますようにと心を込めて作りました。



少しのズレも見逃しません



お飾りも利用者が飾ります

令和3年度

秦野市障害者虐待防止・権利擁護研修会

テーマ「虐待防止と意思決定支援」

日時：令和4年2月17日(木) 13:30~16:30

会場：秦野市保健福祉センター 3階 多目的ホール

講師：大塚 晃 先生

対象：秦野市内の障害福祉サービス事業所職員など

定員：50名(先着順) / 参加費：無 料

申込締切：令和4年2月14日(月) FAX またはメール

＜問合せ先＞

秦野市障害者権利擁護センター ライツはだの

TEL&FAX：0463-79-5032

E-mail：rights-hadano@jousei.or.jp

令和4年度より従業者への虐待防止研修の実施が義務化されます。例として「協議会や基幹相談支援センター等が実施する研修に事業所が参加した場合も研修を実施したもののみならず」とされておりますので、本研修を是非ご活用ください。

活動報告 クリスマス会



丹沢レジデンシャルホームではサンタクロースに扮した職員が特製のサンタ饅頭とクリスマスツリー型の練り切りを居住者の方々にお配りし、召し上がっていただきました。その他にも、日中活動で作成したリースの絵に鈴やリボンなどで飾りつけをする催しや、音楽クラブの発表会を行い、シングルベルを合唱して大いに盛り上がりました。



花鳥デイサービスセンターと秦野ワークセンターの合同クリスマス会では、ゲームとクリスマスソングのカラオケで楽しみました。恒例の「はまり役」サンタ（職員）がプレゼントを渡してまわり、みんなで和みました。



「ボランティア」で人と人のつながりを大切に

常成福祉会は地域の様々な方々に支えられています。クラブ活動や生産活動の技術指導などを行っている技術ボランティアさん。外出や散髪、傾聴やタクティールケアなどを行っているボランティアさん。そうした大切な活動やサポートが、新型コロナウイルスによって出来なくなっていました。

地域福祉の原点は人と人とのつながりです。長い年月をかけて築いてきた「つながり」は、何物にも代えがたいもの。大切なものを失わないためにも、どうしたらボランティア活動を再開できるかを自主的に考えていかなければなりません。法人では、そうした「思い」と具体的な対策をみんなで共有しながら、ボランティア活動を再開しています。



絵画の山田先生

アクティビティの絵画、指ヨガ・タクティール、音楽クラブのボランティアさんが再開しました。久しぶりの再会にみんな笑顔。これからも感染に気を付けながら活動を続けたいです。



競輪補助事業完了のお知らせ

このたび、2021年度の競輪の補助を受けて、以下の事業を完了いたしました。

記

事業名；2021年度緊急的な対応を必要とする事業

（新型コロナウイルス感染症の拡大防止策）補助事業

事業内容；サーモカメラ・検温器・自動水栓の整備

補助金額；704,000円

実施場所；神奈川県秦野市菩提1711番地2

障害者支援施設「丹沢レジデンシャルホーム」

完了年月日；令和3年12月21日



【実施内容】

① サーモカメラ及び検温器の設置

施設利用者、職員及び外来者が入館時また適時、体温の測定が可能になりました。

【施設入口】



【生活支援員事務所前】



② 自動水栓の設置

生活支援員・看護師が一つの介護・看護ごとに自動水栓で手洗いを行うことができます。

【生活支援員事務所】



【洗面所】



【看護師事務所】



【食堂配膳室】



【予想される事業実施効果】

サーモカメラ・検温器の設置により、施設関係者の検温の効率化が図られるとともに、発熱の認知による早期受診・他者との接触回避によるウイルスの持込・拡大防止に効果が見込まれます。また、自動水栓を生活支援員・看護師の事務所等に設置したことで、ウイルスを適切に洗い流す環境が整備され、職員によるウイルスの運搬を防止する効果が見込まれます。よって、新型コロナウイルス感染症の持込はもちろんクラスター防止に継続的な効果があります。

「美味しかった」が聞きたくて

120人分の料理を黙々と作り続ける男。それが小泉さんだ。小泉さんは寿司の名店で10年間働いていた経歴を持つ。その後、一時は畑違いの職に就いたものの、「やっぱり料理人として生きていきたい」という思いを強くし、再び料理に携わる仕事に復帰した。

寿司の名店で学んだこと。それは「季節感」や「出汁」の大切さだ。その信条は給食の調理員として働く今も大切に抱き続けており、いつか自分の作った卵焼きを居住者・利用者の方々に召し上がってもらいたい、という夢がある。

寡黙で朴訥な人柄は正に職人。沢山の人の生活を食の面から支えるエッセンシャルワーカーであり、炎の料理人なのである。

小泉 秀範



#6 調理員 hidenori koizumi (48)

わたしの青春時代

二十歳の頃の私は、黒髪を腰まで伸ばし、バンドに打ち込んでおりました。世代なのでしょう。仲間と当時流行っていたBOW-WEのコピーバンドを結成し、名曲「DREAM BOY」を夢中で練習したことを良く覚えています。そんな訳で、今でもギターやベースを見ると青春時代が蘇ってきます。



当時はモータースポーツ全盛期ということもあり、車も大好きでした。RX-7やフェアレディZなど、スポーツカーばかりを乗り継ぎ、カスタムしてサーキット走行を楽しみなど、かなり入れ込んでおりました。当時も今も、公道ではきつちルールとマナーを守り、誰よりも安全運転です。



【2021.12.23 昼食メニュー】
バターライス、ミートローフ、パン
キンサラダ、クラムチャウダー、
クリスマスケーキ。素敵です♡

入職して嬉しかったこと

常成福祉会の栄養管理担当に入職して最初に感動したのは食材の仕入れでした。魚は地元の魚屋から、できるだけそのまま仕入れるし、野菜や肉などもなるべく地元の物を使う。秦野で生まれ育った私は、地元の食材を活かして美味しい料理を届けられることが本当に嬉しかったのです。

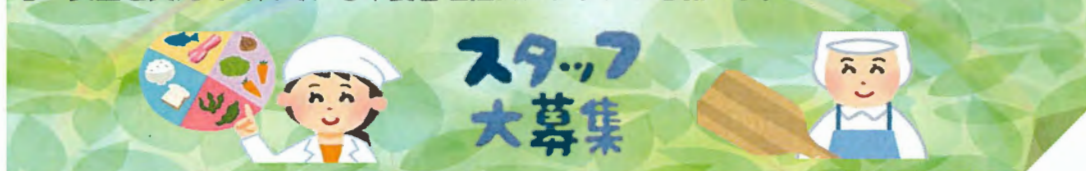
調理員としての一番の喜びは、やっぱり「美味しい」と言ってくれる皆さんの笑顔を見ることです。いつか寿司屋で技術を磨いた「究極の玉子焼き」を皆に食べてもらいたいな、と思っています。



平成30年入職。3交代の変則勤務で120人の食を支える。趣味はドラッグ、ゲーム、音楽など。

常成福祉会では開所以来ずっと、給食を「直営方式」で提供しています。だから栄養士も調理員も法人の職員です。スタッフは職員会議や利用者会議に出席するし、行事とあれば調理員が模擬店で焼きそばを焼いたりもする。当たり前風景になっていますが、実は同じ法人の職員だからこそできる「強み」だったりします。

個別のニーズにきめ細かく対応できる分、仕事はとっても大変。陰日向になって食の安心・安全を支えてくれている栄養管理担当スタッフに感謝です。



常成福祉会の
**キラッと光る
ひとたち**
(第6回)

常成福祉会の、個性や頑張りがキラッと光るひとたちを紹介しています。

秦野ワークセンターからのお知らせ

寒さ厳しい季節に、専用機器で6か月間効果が持続する加熱・抗菌・消毒処理で、ふんわりと仕上がった布団で安眠は如何ですか？ご自宅まで布団をお預かりに伺い、その日のうちにお届けします。

ご用命は電話にてお気軽にご相談ください。 ☎ 0463-75-3343

あとがき

コロナにノロにインフルエンザと見えないものに振り回されそうになりますが、明るく豊かな気持ちで暮らしたいですね。

